

復刻版発刊を祝して

菅茶山顕彰会会長 鶴 野 謙 二

今年、平成30年（二〇一八年）は、菅茶山生誕270年に当たります。

菅茶山顕彰会では、11月10日の生誕記念式典（記念式典・記念講演）をメインに、翌平成31年3月2日には、朗読劇「梅花の契り〜茶山と山陽〜」の上演を予定しており、併せて、各種の事業・行事や研修を行っております。

その一環として、「菅茶山顕彰会会報」復刻版を発刊いたしました。この復刻版は顕彰会の毎年度の活動内容、菅茶山関連の論文、随筆、各種団体の関連事業の記録等々を収録したものです。

顧みれば、菅茶山先生の顕彰活動は大正15年（一九二六年）北辰会による「菅茶山歿後百年祭」に始まり、戦後、昭和51年（一九七六年）神辺町郷土会によって「菅茶山歿後150年祭」が開催され、顕彰活動が再び復活しました。そして、昭和61年（一九八六年）には、神辺町内各界有志により「菅茶山歿後160年祭」の記念行事・事業が盛大に開催されました。これを契機に「菅茶山先生遺芳顕彰会」（平成17年「菅茶山顕彰会」と改称）を立ち上げて本格的な顕彰活動が始まりました。

会報は、その翌年4月に創刊され、ほぼ同スタイルで毎年1回発行してまいりました。

爾来三十年、奇しくも改元の節目、創刊号から平成の掉尾を飾る30年度版（第29号）は来春3月発行予定です。今回の記念事業では、創刊号から第20号までを書籍として、第21号以降は当会のホームページ「菅茶山新報」に掲載し、同時公開することにいたしました。

菅茶山顕彰会では、各関係機関・団体のご協力のもとに、生誕祭、茶山ポエム絵画展、会報発行、ホームページ公開、講演会、見学会等々多彩な顕彰活動を行ってききました。

こうした歩みに関わって、先輩各位のご努力と会員をはじめ、関係各位の熱意・賛意に深く敬意を表します。結びに当って、これまでのたゆみない歩みを復刻版にまとめ、ふるさとの宝（財産）として永く記録（記憶）に留め置きたいと思います。そして、菅茶山の豊かな感性・人間性（遺徳）に学び、それらを現在の教育・文化の礎として共有し、更に後世に継承して行きたいと思ひます。ご支援・ご協力をお願いいたします。



菅茶山自画像 広島県立歴史博物館 提供